

やる気の明倫子

目指す学校像 「行きたくなる学校 行かせたくなる学校 明倫」

平成30年度全国学力学習状況調査明倫小考察

平成30年度の全国学力学習状況調査が、4月17日（火）に小学6年生、中学3年生を対象に行われました。夏休み明けに、全国と静岡県の実証結果が公表され、それを受けて小山町でも検討委員会を設けて、分析を進めてきました。本校の分析もまとめましたので、小山町のリーフレットと個人結果と合わせて本校の成果と課題をまとめた学校だよりを配布させていただきます。学校では課題について、今後の指導で補っていきます。

尚、本調査は下記の目標で実施されています。全国平均をどれだけ上回ったとか本県の全国の順位が何番だったかなどを競う趣旨ではありませんのでご理解ください。よろしくをお願いします。

全国学力学習状況調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校教育の成果と課題を把握し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への指導の充実や学習状況の改善を図る。
- ③上記の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。



明倫小全体の傾向



明倫小の6年生の傾向としては、調査実施教科（国語・算数・理科）においては、概ね学習内容の定着は図られています。特に算数の基礎的な問題（算数A）では、学習の成果が出ています。また、正答率で見ると、全国や県の平均が低い問題で、本校が高い正答率を示した問題がある一方、その逆を示す問題もあり、得意な問題と苦手な問題がはっきりしています。また、問題を解く時間配分がうまくできなかつたり、無答（解答欄が空欄）のまま終わらせてしまつたりする問題もありました。今後の課題として取り組んでいきたいと思ひます。

教科ごとの成果（○）と課題（●）、今後の対策（※）

①国語

- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことはできている。
- グループ討議など、話し合いの参加者として質問の意図をとらえることができる。
- 漢字の書き取りの力が弱い。繰り返し行っている学習が身になっていない。
- 自分の想像したことを表現したり、文章全体を読み取ったりする力が弱い。



※漢字の書き取りについては、ただ、書くという作業だけでなく、意味を考えたり、熟語や文章に生かしたりしながら習得できるようにする。

※物語文や意見文の学習では、内容をよく読みながら筆者の考えを理解したり、何度も繰り返し表現したりする場を、授業の中に多く取り入れていく。

②算数

- 伴って変わる2つの量の関係（単位量当たりの大きさ）についてよく理解できている。
 - 算数の基礎的な力はついてきている。図形や割合の理解もできていた。
 - 円周率についての理解が浅い。公式は押さえているが、それを活用するまでには至っていない。
 - 複数の情報を関連付けて論理的に考察することが難しい。情報をどう活用できるかが課題。
- ※円周率については公式は理解できているので、それを利用して問題を解く際に、簡単な数字に置き換えて代入してみる方法を定着していく。記憶でなく活用する方法を習得させていく。
- ※問題の解き方等、お互いに話し合っただけで考え方を共有できる場を多く設定する。自分だけの考えに固執せず、いろいろな考えに触れ、多様な考え方が持てるようになる場を設定する。

③理科

- 生き物への興味関心が高い。理科の授業は好きで意欲的に実験や観察に取り組むことができる。
 - より良い結果を導くために、実験観察を行い、分析考察ができています。
 - 自分の中では理解できているが、科学的な言葉や概念が十分に押さえられていない。
 - 複数の情報を関係づけながら分析するのが苦手である。資料の様子や時間の経過、自分の経験などを上手に使うことが難しいようである。
- ※日常生活の中で使っている用語と理科学用語で少し異なるところがある。理科の学習として正確に覚えられよう繰り返し指導していく。また生活の中にも応用していく。
- ※情報の分析については、簡単な実験の過程で基礎を培い、何度も繰り返し経験させることが望ましい。授業の最後に必ず考察や振り返りを書く活動を取り入れていく。

④質問紙（生活の様子）

- 先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
 - いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。
 - 理科の勉強は好きで、内容がよくわかる。実験観察も好きである。 (95%以上)
 - 人の役に立つ人間になりたい。 ○理科の勉強は大切だと思う。
 - 朝食を毎日食べている。 ○社会や自然のことに興味がある。
 - 家で学校の宿題をしている。 (93%以上)
 - 地域の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりしますか。
 - 新聞を読んでいますか。
 - 将来、理科や科学の関連の仕事に就きたいですか。 (50%以下)
- ※全体的に見て自己肯定感が高いとは言えない。自分に自信が持てるような指導をしていく。
- ※与えられたことはしっかりとできるが、自分で計画を立てて活動することが苦手である。学校と家庭で協力しながら、共通理解のもと指導を続けていく。
- ※自分の考えを伝えるのが苦手である。学級や小グループの中で発表の場をたくさん設け、自信をつけていきたい。

最後に

これから10年後、子どもたちが大人になった時代を考えて、学校と家庭が子どもたちにつけたい力を共通理解し、一緒に教育に力を入れていかなければなりません。明倫小職員は一丸となって教育活動を行ってまいりますので、ご協力よろしくお願いします。

